

# 自転車 の基礎情報



平成28(2016)年2月26日 No. 5

## シティ車の後ブレーキ4 ～ローラーブレーキの構造～

シティ車の後ブレーキシリーズも4回目。今回はローラーブレーキの構造です。

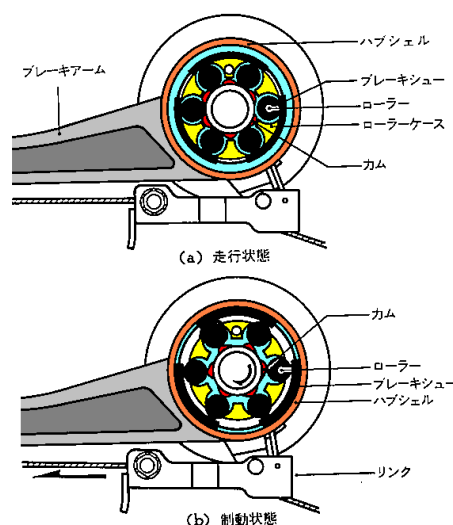
ローラーブレーキはバンドブレーキと並び、現在では多くのシティ車に取り付けられています。内装3段などのギアが付いている場合には、大抵、ローラーブレーキ仕様となっています。ローラーブレーキの特徴は、まず、密閉されているので雨の影響を受けにくいことが挙げられます。次に、内部に専用のグリスが入っているため、ブレーキをかけた時の音鳴りがほとんどない、ということです。さらに、バンドブレーキやサーボ(内括)ブレーキとブレーキの構造が大きく異なっているため、ブレーキをかけた時の制動感も違ってきます。

ローラーブレーキが効く仕組みは、ブレーキレバーを引くと凹凸のあるカムが少し回り、カムの出っ張っている凸の部分がローラーを外側に押し出す。同時にブレーキシュー(金属製)も押し出されることになり、タイヤと一緒に回転しているハブシェル(金属製)に接触し、ブレーキがかかります。専用のグリスは、金属間の摩擦の力を適正にし、摩擦による熱や音を抑えるなどの効果を発揮します。

ローラーブレーキ付きのシティ車にしばらく乗っていると、ブレーキをかけた時に音鳴りがする、あるいはブレーキが急激に効くといった症状がでた場合には、内部の専用グリスが切れてしまったことが原因として考えられますので、すぐに、自転車販売店で専用のグリスを入れることが必要になります。

注意していただきたいことは、自転車に乗った直後のローラーブレーキは高温になっている場合があるので、絶対に手で触れないでください。

次号は、平成28年3月22日に発行を予定しています。



図は当協会発行の自転車実用便覧第5版から引用しました。発行当時の図であるため、現在のローラーブレーキとは異なる場合があります。

### <発行>

一般財団法人自転車産業振興協会

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階

電話：03-6409-6922 FAX：03-6409-6868

<http://www.jbpi.or.jp>

